



まとめの学期 ～ 成果と課題の検証を～

- ◆ 来年度で5年目(最終年度)を迎えます第4次とよおか教育プランの基本理念「ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの育成～非認知能力(やり抜く力・自制心・協働性)を子どもたちに～」。

この基本理念のもと、学校の先生方には、普段の学校教育活動や学校行事等で、またご家庭や地域においては、各場面で豊岡の子どもたちに様々な関わりをしていただいています。今、まさに実践されている丁寧で地道な取組が、豊岡の子どもたちの将来を豊かにしていくことは間違いありません。学校、家庭、地域が一体となった教育活動の展開は豊岡市教育の宝物です。

まとめの学期となります。教育の歩みを止めないためにも勇気をもって今年度の教育実践、諸取組における成果と課題について検証を行っていききたいものです。

☆トピックス1 『頑張っています!新任の先生方』

本年度、豊岡市には20名の新任教員(養護教諭を含む)が採用されました。地元但馬の出身者だけではなく、東播・西播はもとより阪神地区から赴任されている先生方もおられます。「但馬、豊岡?」赴任先を聞かれた時は、さぞかし驚かれたことでしょう。初めて一人暮らしをされる先生もあり、ちょっぴり不安だったとか。でも、今は各職場の先輩方の温かいサポートによって気持ち良く仕事ができているそうです。体調を崩される先生がおられなかったことが何より良かったです。

授業実践も、豊岡市の『授業における5つの「徹底・継続」実践事項』を参考に、積み上げられています。授業を参観させていただきましたが、子どもたちとしっかり向き合い、工夫された授業が展開されました。保健室では、子どもたちにとって安心・安全な居場所づくりが徹底され、子どもと養護教諭の良い関係性を垣間見ることができました。

先生方の更なる活躍を願っています。



☆トピックス2 『失敗を恐れずにチャレンジ!小1・小2(演劇WS)』

小1の6月に1回目の演劇ワークショップ「何に変身?あてっこゲーム」を行いました。「体や声、言葉を使って自分の考えや気持ちを表現し、受容される体験」がねらいであり、四角に囲んだステージに入ると、なりたいものに変身できます。「イヌ」「兎」などの動物系から、ブリッジをしてアーチを作った「レインボーブリッジ」や横たわってひじまくらをした「お父さん」など多彩な表現が見られました。

小2の1回目のプログラムは、小1に比べかなり難易度が上がり、グループでお題や役割、ストーリーを決めて発表します。講師からは、「自分たちは楽しんで満足しているけど、観ている方には全く伝わっていないよ。」など厳しめの評価をされることもありますが、創作したものに、関係のないキーワードを入れて、ストーリーを再構築します。(寿司屋のお題にロケット、登校のお題に豆腐、野球のお題にカラスなど)。子どもたちは、休憩時間も惜しんで、話し合いと練習を繰り返します。「考え方や価値観の異なる他者と向き合う。話し合いをしながら合意形成をとる」ことがねらいです。失敗体験を糧として、課題に向き合い、最後までやり抜く姿がたくさん見られました。